

たゆたえども沈まず



学長

鈴木 康司
すずき こうじ

卒業生諸君、おめでと。中央大
学における学業を終えて社会に旅立
つ日を迎えた君たちの胸中には、お
そらくいろいろな思いが渦巻いてい
ることでしょう。

二十一世紀初頭、日本経済がデフ
レスパラルに苦しむさなかにも拘
らず、諸君はそれぞれ、ご自分の將
来を見据えつつ、ベストを尽くして
進路を探し求めたものと思います。
ある人は希望通りの職場を見つけ、
ある人は己のキャリアデザインがま
だ確定していないことからフリー
ターの道を選び、また、他の人は更
なる勉学目指して大学院に進学する
など、千差万別でありましょう。

しかし、さまざまな経験や苦労を
経た君たちは、間違ひなく一回り成
長したのです。君たちの前途にはそ
れこそ多くの事柄が待ちうけていま
す。しかし、この一年の経験を生か
し、周囲の人々から示された好意や
家族のかたがたの暖かい眼差しを思

い起こせば、どのような障害にぶつ
かるうと力が湧いてくるはずで
す。この一年の苦労を生涯の糧として、
また、周りの人々から示された情
けを宝として、歩みを進めてくださ
い。

それにしても、諸君をこれまで慈
しみ、育てて下さったご両親には、
真つ先に感謝を捧げて下さい。私に
もとくに社会人として一家を成し
た子供が二人おりますが、それぞれ
学業を終えて社会に巣立つた時には、
親としてなんととも言えない感慨を
持ったものです。よくぞここまで、
たいした病気もせず成長してくれた
これで親の責任もある程度は果した
ぞという気持ちと同時に、社会の荒
波にもまれる子供の前途を考えると
まだまだ見守ってやらないとならな
いだろうとの思いが交錯しておりま
した。諸君のご両親も、おそらくは
同じ思いでいらっしやることではな
い。君たちのありがとの一言がご

両親にとつては何よりうれしい言葉
に違いありません。

一昨年、私は、卒業してゆく諸君
に対して、「少年老い易く、学成り
難し」Ars longa, vita brevisとい
う格言を送り、昨年は「良きワイン
は心を楽します」Le bon vin
réjouit le cœurというフランスの言
葉を送りました。今年の諸君には「た
ゆたえども沈まず」Frustrat nec
mergitur というパリの紋章に書
かれているラテン語の銘句を送りた
いと思います。パリはご承知のよう
にフランスの首都であり、歴史の街
です。パリの歴史はセーヌ川の中の
島にあたるシテ島から始まります。
カエサルによるガリヤ征服のはるか
以前よりこの島に住んでいたパリ
シー人の名がやがて現在のパリとい
う名の起源となるのですが、そのパ
リシー人たちはセーヌ川を行き来す
る船を交易の手段として暮らしてい
ました。今日のパリの市紋章にはそ
の昔を偲んで船が描かれ、そして「た
ゆたえども沈まず」というラテン語
が添えられています。この言葉が示
すように、パリは歴史の流れのなか
で、まさにたゆたえども沈まない船
そのものであったのです。古代ノル

マン人の侵攻にも耐え、中世の百年
戦争、宗教戦争の嵐もしのぎ、十七
世紀のフロンドの乱、そして幾度も
の革命にもびくともしなかったパリ
ですが、この街の最大のピンチは第
二次大戦末期でした。連合軍の反撃
に押されて不利となったドイツ軍が、
パリを撤退するに際して、ヒット
ラーからパリ破壊を命じられたダイ
ツ軍防衛司令官は、市内各所にダイ
ナマイトを仕掛けさせながら、人類
最高の文化遺産を破壊する罪の意識
に苛まれ、ついに破壊命令を出せな
かったのです。お陰で、パリは救わ
れました。そして二十一世紀を迎え
た今日まで、沈むことなき日々を過
ごしています。

この銘句は人生にも当てはまりま
す。これから社会に巣立つて行かれ
る諸君にとつても、きつと役に立つ
のではないのでしょうか。人生には超
えて行かなければならない困難や、
障害が幾つも立ち現れます。嵐にも
まれる船のように辛い経験をするこ
ともあるでしょう。大事なものは決し
て沈まないことです。「たゆたえど
も沈まず」、しなやかに人生の荒波
を乗り切る、それが肝要です。諸君
の輝かしい前途を祈っています。